



北部九州における鉄器の出現と普及

橋口 達也（福岡県教育庁文化財課）

日本では弥生文化成立当初から鉄器が導入されて使用されている。当初は斧等の工具の使用から始まっている。斧（板状鉄斧、袋斧）・刀子・鎌等の工具は次第に量を増すが、中期前半頃までは絶対量は少なくまだ大陸系磨製石器が主流を占めている。しかし鉄器の優れた点はすぐに認められていき、既に前期末の段階で鎌・刀子・鎌等の小形鉄器および板状鉄斧等の簡単な鉄器の製作は輸入された鉄素材を用いて行われていた。袋状鉄斧も中期前半には確実に国内生産されているが、可能性としては、前期末に遡ると考えられる。

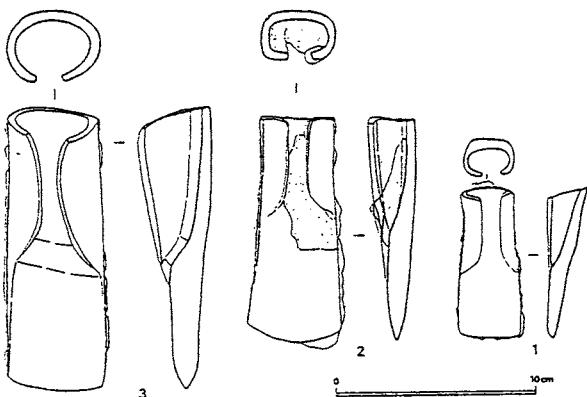
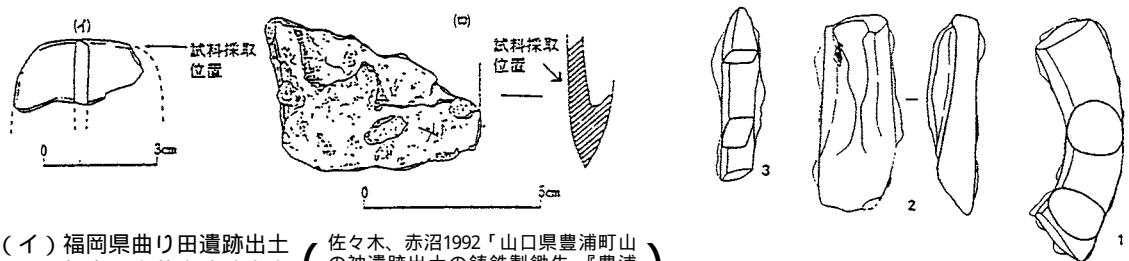
中期中頃から後半になると鉄製工具はさらに普及し、石庖丁等の一部のぞき、石器は消滅していく。また同時に鉄剣・鉄矛・鉄戈等の鉄製武器が出現し（鉄刀の出現はややおくれる）石製武器・青銅製武器を駆逐し、青銅製武器を祭器の位置に追いやり、急速に普及していく。弥生時代は稻作農耕により余剰生産物が生じ、熾烈な土地争い・水争いを通じて首長権が確立され発展する時代である。中期後半は、前期後半から中期前半の段階における近隣聚落の争いから末盧・伊都・奴国等の旧郡程の範囲を領域とする地域的・政治的なまとまりが形成される。これがすなわち中国史書に「クニ」と記載された領域であるが、春日市の須玖岡本、前原市の三雲南小路の甕棺に示されるような前漢鏡30面余等を副葬した盟主的首長も出現し、首長権もさらに強力となっている。したがって戦いも領域争いへと質的に変わっていく時代である。鉄鎌の刺さった人骨、鉄製武器で傷ついたあるいは首をはねられた人骨の出土例等があるが、そういう戦闘が広範囲に行われて鋭利な武器を必要とした内部的条件と、前漢後半以後鉄製武器が中国大陆周辺に波及するという國際的条件とも絡めて、鉄製武器の普及はとらえられる。

農具の鉄器化はかつては武器等と同じく中期後半頃からとされていたが、近年の成果からいえばかなり遅れて後期後半頃と考えられる。

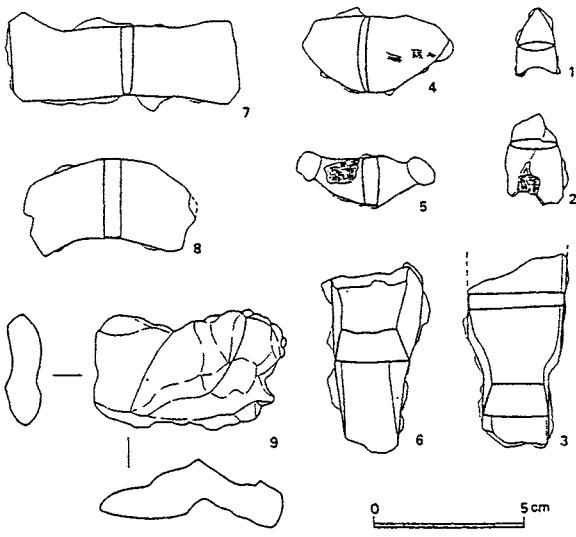
農具が鉄器化される北部九州の弥生後期後半から終末期、すなわち畿内 様式から庄内式の段階には、瀬戸内・畿内はもちろんのこととして関東でもかなり鉄器が普及している。

畿内では 様式の鉄器はきわめて少なく、 様式で若干増え始め、 様式から庄内式の段階では北部九州の中期後半頃と同じような普及の状況を示している。畿内の研究者のほとんどは、鉄器そのものの出土が少ないとから鉄は鏽やすくて消滅するし、また再生して作り直すから実物は残りにくいと考えており、したがって石器の消滅から鉄器の普及を類推するというのが鉄器研究の主流であり正攻法であると主張している。石器の消滅が鉄器の普及という問題と関連することは当然のことではあるが、鉄器そのもので開始・普及を論じている北部九州の私どもからみるとこの論法は消極的な方法である。私はかつて鉄器が出土しないのなら、これから鉄器用の砥石に注意して鉄器の普及に言及するならまだ少しでも積極的な方向となると提起したことがある。北部九州では例えば飯塚市の立岩10号甕棺、日田市の吹上1号甕棺、大分県天瀬町の五馬大坪木棺墓等に鉄器と砥石が副葬されており、前期古墳では農工具・武器とともに砥石の副葬は一般的となる。

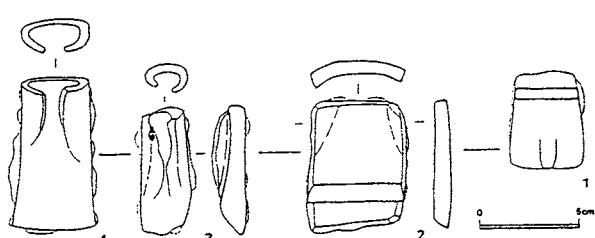
古墳時代にはいると前期古墳には鉄製武器・農工具を多量に副葬するのは一般的であって、鉄器が普及したと同時に、首長層へ鉄器が集中したことも示している。



赤井手遺跡出土の鉄素材・未製品
1~3 5号土壙、4 9号土壙、5 64号住居跡、
6 A地点西斜面

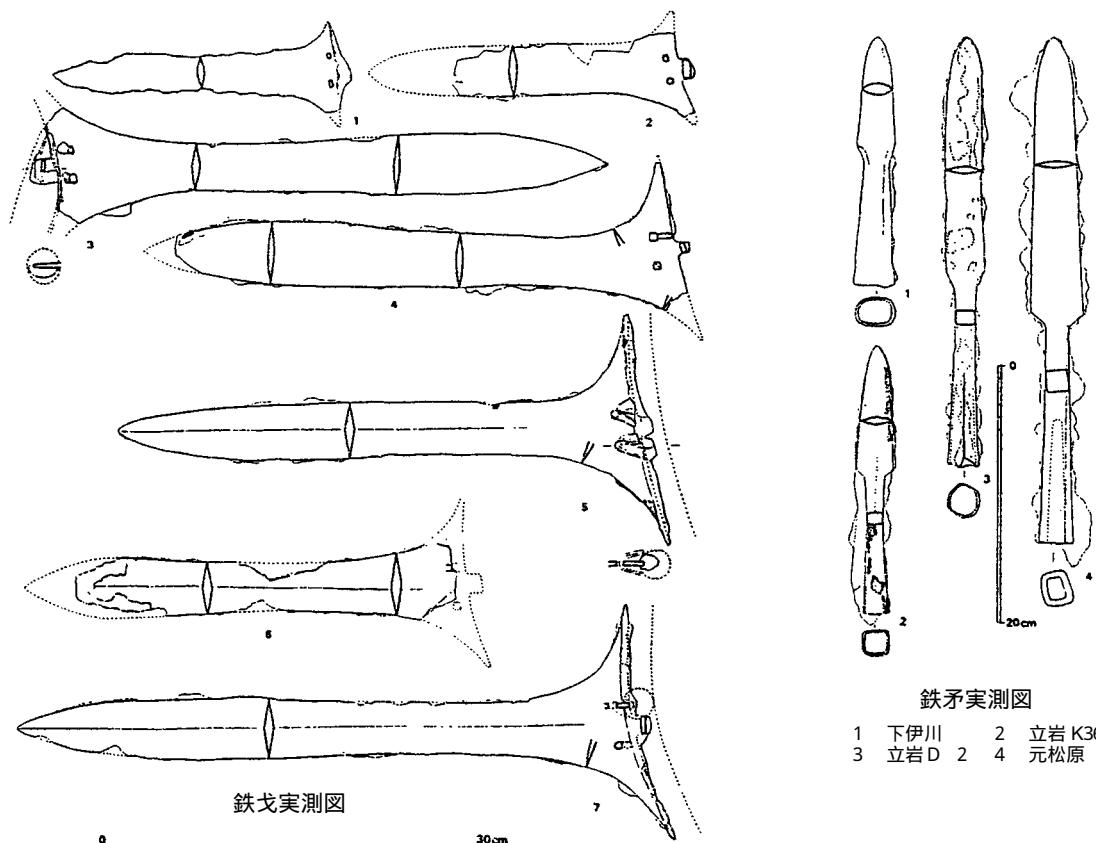


鉄素材・未製品と考えられる関連資料
1 門田辻田、2 三雲加賀石、3~11 三雲番上、12 馬場山 N 21、
13 馬場山 DA 2



赤井手出土鉄器による鉄斧製作工程模式図

1 64号住居跡、2 A地点西斜面、3 5号土壙、4 溝2



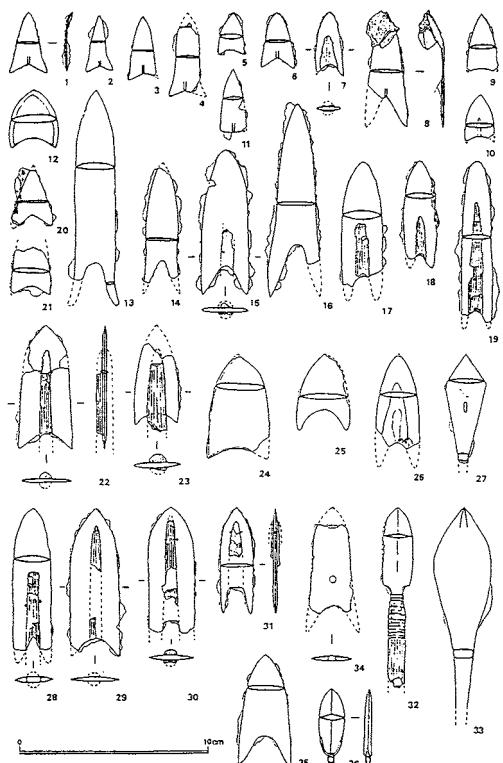
鉄矛実測図

1 下伊川
2 立岩 K36
3 立岩 D 2
4 元松原

鉄戈実測図

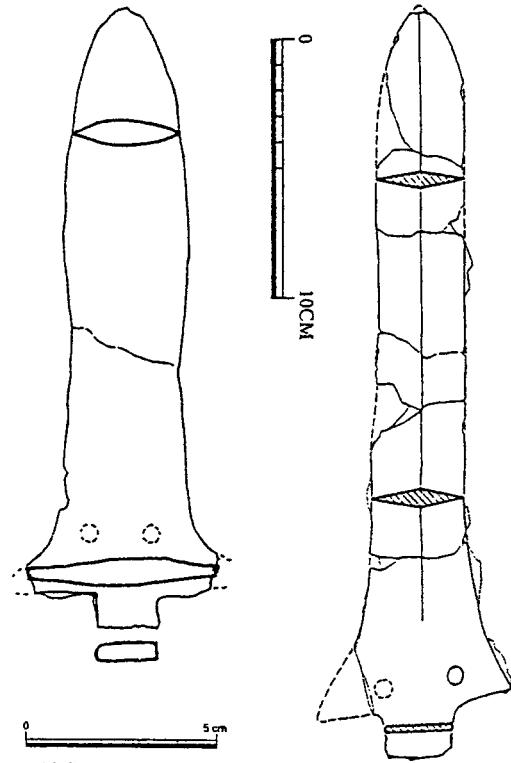
0 30 cm

1 須玖 2 御床松原 3 吹田 4 上り立
5 立岩掘田 K34 6 山崎 7 立岩掘田 K35



鉄鎌実測図

1 ~ 4 吉ヶ浦 5 赤井手 6 ~ 8 三津永田 9 門田 10 ~ 33 肥前国府
12 ~ 13 小笠 14 ~ 16 原の辻 17 ~ 19 シゲノダン 20 年の神 21 ~ 22 栗田
23 桶田山 24 神松寺 25 ~ 27 千塔山 28 木坂 5号石棺 29 ~ 30 汐井掛
D 167, 31 ~ 32 平 34 神谷川 35 桑飼下 36 船橋



鉄戈
茶戸里遺跡一号墓

宗像市梅木遺跡